

進化する 最新のがん治療

—がん研究の進歩と信頼—

最新のがん薬物療法(標的探索、シーク探索、バイオマーカー開発なども含む)について基礎研究におけるデータの質や研究倫理、臨床試験でのデータの質などをわかりやすく解説する一般市民向け公開講座です。

日時 平成26年**6月28日(土)** 12:30開場
13:00開会~15:00終了<予定>

会場 **仙台市情報産業プラザ**
<AER(アエル)5階 多目的ホール>

対象 **一般市民、がん患者、がん経験者および家族**

定員 **300名**
(先着順)
【参加費無料】

会場ごあんない



参加申込み方法 ※締め切り/6月14日(金)必着 ●お申し込みいただいた方に聴講整理券をお送りいたしますので、当日ご持参下さい。

1. ハガキ………①住所 ②氏名 ③参加人数 ④電話番号 を明記の上、〒980-0872 仙台市青葉区星陵町4-1 NPO法人東北臨床腫瘍研究会へ
2. ファックス………裏面の申し込み用紙に必要事項を明記の上、FAX.022-717-8548へ
3. 専用箱に投函……裏面の申し込み用紙に必要事項を明記の上、東北大学病院内に設置された専用箱へ

プログラム

■ 開会挨拶 東北大学加齢医学研究所 石岡 千加史

第1部 新しいがん薬物療法の誕生まで (60分)

司会：大崎市民病院 蒲生 真紀夫

- 講演1 「抗がん剤の創薬ロードマップ」
秋田大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学講座 教授 柴田 浩行 (20分)
- 講演2 「抗がん剤候補が標準的な治療法として認められるまで」
順天堂大学大学院医学研究科臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介 (20分)
- 講演3 「がん薬物療法の普及に必要なこと」
山形大学医学部医学科臨床腫瘍学講座 教授 吉岡 孝志 (20分)

—— 休憩：10分 ——

第2部 がん研究の成果と未来 (40分)

司会：東北大学加齢医学研究所 石岡 千加史

- Q&Aコーナー (10分)
- 講演 「最新のがん研究の動向」
東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター長
難治疾患研究所 教授 稲澤 譲治 (30分)

■ 閉会挨拶 大崎市民病院 蒲生 真紀夫

主催：第18回日本がん分子標的治療学会学術集会(会長 石岡 千加史)
共催：特定非営利活動法人東北臨床腫瘍研究会
後援：宮城県、仙台市、東北大学病院